

JAPAN 国内活動

●小・中学校、高校あわせて76校が参加



「絵本を届ける運動」は場所や時間をあまり選ばずにどなたでも気軽に参加できる国際協力ボランティアです。個人だけでなく多くの団体や企業にもご参加いただいております。総合的な学習の本格化導入により、学校単位での参加が特に目立ちました。ベルマーク教育助成財団が学校にかわり費用負担して下さるプログラムも、3年目を迎えますますます好評をいただきました。

(2002年度：先着40校対象)

見知らぬ文字に驚きながら絵本作り。カンボジアに届け！ぼくが作った絵本。

●絵本が旅立つ前に



長い船旅で絵本が傷まないように気をつかいながらの梱包作業

皆様の手によって貼りつけられた絵本。船に載せる前に点検（貼り漏れ、貼り間違いがないかなど）、そして修正を行います。ハンカチの木、おんなじ空ネットワーク、SVA東京事務所の3ヶ所で国内最後の作業を行っています。

（ハンカチの木 千葉県柏市）

おんなじ空ネットワーク（長野県松本市）

どちらも地域の方とともに教育支援活動を活発に行う団体です。



少しでもきれいな絵本を届けるため1冊ずつ点検

●おはなしと図書館活動に関する研修会

～2002年の報告～

小学校の図書館員と校長先生を対象にした研修会を行っています。絵本は、研修会ではおはなしの仕方を学んだ先生にのみ配布をしています。以前、教育局に配布を依頼したこともあります。絵本を運ぶ交通手段がないので、ずっと倉庫に眠ったままになっているという問題が発生し、現在では研修会を通じて配布するようにしています。



絵本に見入る子どもたち

2002年度は12回、851人の先生たちが研修を受け、309の小学校に14,430冊のクメール語訳を貼りつけた絵本を配布しました。研修会終了後3ヶ月以内に参加者のいる学校を訪れますが、すでに絵本に痛みが見られ、追加配布のリクエストがありますが応えきれない状態です。

●心の平和を願って

～今年の計画～

2003年度はタイに国境を接するバタンバン州とプーサット州を中心に活動を行います。ポル・ポト政権という残虐な政権が終わったのは1979年ですが、その後もポル・ポト残党兵がこの地域に潜伏してゲリラ活動を行っていました。政府軍とポル・ポト兵が、お互いの領地を守るために埋めたのが地雷です。この地域に平和が訪れたのは1990年代後半になってからです。これらの地域に住む子ども達の心のケアを、おはなし活動を通じて行うことが今後の目標です。

一人でも多くの子どもたちが絵本と出会うように、今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

（プノンベン事務所 図書館事業課 鎌倉 幸子）

●ラオス最大の県 サワンナケートでの活動

～2002年の報告～

2000年から2003年までの3年間、南部にあるサワンナケート県を対象県に選び、集中的に読書推進、図書館活動を行っています。皆様からお送りいただいた翻訳絵本は、そのサワンナケート県の2つの郡で図書館と共に配布しました。

ラオスの小学校のうちコンクリート製の校舎は半分にも満たず、多くが茅ぶきや板壁の校舎です。壁のない屋根だけの校舎で勉強している子どもたちもたくさんいます。そういう環境では、日本の絵本を単に配布するだけではだめで、本を保管する図書箱を同時に配布し、また先生に向けての研修を行っています。2002年も10月に読書推進研修会を実施し、最終日に参加者の先生に絵本を手渡しました。サワンナケート県以外では、ソムサワート村、シェンダー村（ヴィエンチャン特別市）の小中学校図書館、全国の子ども文化センター図書室などに絵本を届けました。どこの図書館でも日本の絵本は子どもたちの人気の的となっています。



隣国間がせの横断。絵本の中にすいこまれそうな子どもたち

●県立公共図書館の建設

～今年の計画～

2003年はサワンナケート県に県立公共図書館を建設し、児童コーナーに日本の絵本をぜひたくさん置きたいと思います。また図書箱の配布活動も同県の2つの郡で実施し、日本から届いた翻訳絵本を各学校に手渡す予定です。これからも、教科書以外の子ども向けの本を見たこともない地方の子ども達に、優先的に絵本を届けていくつもりです。皆様のご協力を心からお願いいたします。

（ヴィエンチャン事務所 副所長 川村 仁）

『はらべこあおむし』の絵本が大好き！

色がとても鮮やかで楽しい気持ちになるよ！図書室ができて初めて絵本を読んだときは、とても興奮してすぐに大好きになった。友だちともよく絵本の話をするよ。将来は医者になりたいな。ぼくのことをたくさん助けてくれた父さんと母さんが、病気になるたとき助けてあげたいから。いろんなことを知ることができるから、これからもたくさん絵本を読みたいな。



ヌーナル先生（44歳）

子どもたちの心と一体に

図書館担当の先生になったのは今から2年前。それほど若くない自分に、子どものための活動ができるのかとても不安でした。でも『おおきなかぶ』の読み聞かせをしたときに、子どもの心と一体になり楽しんでいる自分に気づき、とても自信ができました。子どもたちは限られた時間の中で、夢中になって絵本を読んでいます。日本の皆さんにいただいた絵本をこれからも大切にします。



カンダール州小学3年生
ハイソブレイン君（11歳） 写真右



ファリダーちゃんの利用している図書室。
たくさんの子どもたちでにぎわっている。

姉妹で絵本が大好き！

休み時間に図書室に来るのがとても嬉しい。大好きな絵本は『はじめてのおつかい』。私には4歳の妹がいて、図書室で借りた絵本をいつも家で読んであげるの。妹も絵本が大好きで「毎日借りてきて！」って頼まれるんだ。将来は学校の先生になりたいな。たくさんの子どもたちに、いろんな絵本を読んでもあげたいの。



ソムサワート村 小学5年生（10歳）
ファリダーちゃん